

松江市監査委員告示第 4 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 12 項の規定により、平成 29 年 3 月 23 日付け松江市監査委員告示第 2 号で公表した定期監査（一般会計・特別会計）の結果に基づき、松江市長から措置等を講じた旨の報告がありましたので、次のとおり公表します。

平成 29 年 5 月 15 日

松江市監査委員 松 本 修 司

松江市監査委員 児 玉 泰 州

措 置 報 告 書

監 査 結 果	措 置 等 結 果
<p>(1) 行政改革について 行政改革を進めるにあたって、市長部局、企業局ともにオール松江という意識をもち、全体として実行内容に齟齬がないよう、連携を強めさらに効果をあげられたい。（行政改革推進課）</p> <p>(2) 計画的な事業遂行について 防災対策関連機器については、資金を計画的に確保して、適切な管理、更新をされ、防災体制の維持向上に努められたい。（防災安全課） 防火水槽等の消防水利について、市全体の必要数を明確にし、計画的に整備されたい。（警防課）</p> <p>(3) コスト意識と経費縮減 評価替基準資料作成については、入札を検討されたい。（固定資産税課）</p>	<p>(1) 現在、第二次松江市行財政改革大綱及び実施計画（対象期間：平成 27～31 年度）に基づき、行財政改革に取り組んでいるところです。引き続き、企業局を含めた全部局が連携し、全市を挙げて実効性ある改革の取組を進めてまいります。 （行政改革推進課）</p> <p>(2)-1 国等の財源措置や機器配備の有効性を検証しながら、更新計画の策定について検討を進めてまいります。また、必要に応じて中期財政計画への計上等により、実効性を担保し計画的な維持管理に努めます。（防災安全課）</p> <p>(2)-2 消防法第 20 条第 1 項消防水利の基準（消防庁告示）に基づき、消防水利の充足していない箇所、消防戦術上必要となる箇所に、消火栓は上下水道局の水道管路耐震化事業計画に併せ、整備を行います。また、防火水槽は年間 2 基程度を整備してまいります。（警防課）</p> <p>(3)-1 今後も価格の低廉化に努めるとともに、入札についても検討してまいります。 （固定資産税課）</p>

訪問調査事務については、コスト意識をもって事業を進めるとともに、認定までの期間短縮に努められたい。(介護保険課)

出雲玉作資料館について、コスト意識をもって事業運営にあたられ、利用客の増による収入増とともに、経費縮減に努められたい。

(まちづくり文化財課)

消防用ホースの購入方法について、他都市の状況等を調査され、より低廉な購入額となるよう努められたい。(警防課)

(4) 補助金等のあり方について

老朽化が進むマイクロバスの今後の扱い、方針並びに町内会、自治会等に対する補助金について、本庁担当課と協議を進められたい。

(八雲・玉湯・宍道支所地域振興課)

水産振興事業費補助金については、補助対象者の経営状況をよく把握されて、支給の可否を判断されたい。(水産振興課)

(3)-2 訪問調査の効率的な実施を行うため、受付から認定判定までの個別の進行状況管理を徹底するよう努めます。また、平成 29 年度におきましては、訪問調査業務を松江市社会福祉協議会に全件委託しますので、申請区分毎の調査が改善され、より効率的な調査の実施とコスト削減が可能となります。(介護保険課)

(3)-3 引き続き経費縮減に努めながら、魅力的な展示と積極的な PR で、入館者及び入館料収入の増加を目指します。具体的には、4 月 25 日から企画展「船木研兒・船木倭帆兄弟遺作展」を開催することとしており、期間中に工芸作家のトークショーやピアノコンサートなど様々なイベントも開催することで魅力を高めます。開催にあたり、チラシ配布やポスター掲示等に加え地元紙文化欄への寄稿を予定するなど、情報発信にも努めています。今後は、不昧公 200 年祭記念事業など市を挙げた取り組みに連動したテーマの採用や、市内の美術館や博物館等との連携で、より相乗効果の高い展示を行っていきます。(まちづくり文化財課)

(3)-4 他都市の状況等を踏まえ、一括購入等も念頭に置き、コスト低減に努めてまいります。

(警防課)

(4)-1 マイクロバスの今後の扱いについては、使用に関する公平性の確保及び効率的な資産管理の観点から一括管理方式について検討し、関係課と協議を進めます。

町内会、自治会等に対する補助金については、地域版総合戦略を推進する中で、各地域で行っているまちづくり意見交換会での意見や地域課題を踏まえ、当該補助金の意義等を総合的な観点から再検証し、関係課と協議を進めます。

(八雲・玉湯・宍道支所地域振興課)

(4)-2 水産振興事業費補助金については、交付申請の際に、直近の決算書を確認するなど、経営状況をよく把握したうえで、支給の可否を判断する

<p>(5) 地域振興のための事業展開について</p> <p>中山間地域等で農業生産を維持するためには、中山間地域等直接支払事業費で支援するだけでなく、長期的な将来にわたる特産品づくりを目指して進められたい。(農政課)</p> <p>林業においては、特産品づくりを視野に入れ、植林について、それに結び付くような樹種を考慮して進められたい。(農林基盤整備課)</p> <p>沿岸漁業の収入をあげ、後継者を増やすために、収入増に結び付く複数の事業のメニューをつくり、漁業者に示すなどして進められたい。 (水産振興課)</p> <p>観光客増加のために、観光客のニーズを的確に捉えたうえで、それに応えるような観光関連のホームページを作成し、タイムリーに更新されたい。 (観光文化課)</p> <p>(6) 指定管理について</p> <p>市民農園、八雲山村広場の管理について、借地料、人件費等の経費の縮減に努めるなど、事業の効果と費用をよく考慮して進められたい。 (農政課)</p>	<p>こととします。(水産振興課)</p> <p>(5)-1 耕作条件に恵まれない小規模農家が多い中山間地域においては、地域の特色を活かした高付加価値の農産物生産と6次産業化により、所得向上と地域の活性化を図ってまいります。 (農政課)</p> <p>(5)-2 植林については、木材生産を目的とするものや、里山の景観保全を目的とするもの、また、荒廃している森林の公益的機能を増進させる目的のものなど、地域や山の用途に応じて適した樹種を選定しております。今後も地域の皆様や、山の所有者の方々と一緒になって、特産となりうる樹種を考慮しながら、地域に合った山づくりを行ってまいります。また、現在島根県において、早生樹種の研究が進められており、本市においてもその導入に向けて検討を進めてまいります。 (農林基盤整備課)</p> <p>(5)-3 平成28年度から複合経営に向けた取り組みに対する補助事業も新設し、若い漁業者が新たに養殖漁業も始められました。今後も漁業経営の安定化や所得向上に繋がり、魅力ある漁業となるよう、関係機関と連携し効果的な補助事業に努めていきます。(水産振興課)</p> <p>(5)-4 入込・宿泊客数や観光動態調査などの観光統計データの収集・分析により、ターゲットやエリアに応じた、きめ細やかな観光情報をホームページやSNSなどを活用して、効果的・効率的な情報発信に取り組むことで、観光誘客を推進してまいります。(観光文化課)</p> <p>(6)-1 市民農園、八雲山村広場については、魅力ある催事を企画、実施することで利用を伸ばしていくとともに、より効率的な管理運営や借地料の見直しを行い、経費の縮減に努めてまいります。 (農政課)</p>
--	---

障がい児通園施設については、老朽化等に対応した修繕を実施され、施設の維持に努められたい。
(障がい者福祉課)

(6)-2 障がい児通園施設については、老朽化等に対応した修繕を適宜実施し、施設の維持に努めます。(障がい者福祉課)